

岩国市議会議員 松川たくじ の



◆編集・発行：松川
たくじ後援会事務
所◆岩国市麻里布
町3-8-2



市政活動便り

安心安全な街づくり

今年度、米軍艦載機移駐により 3,800 人の米軍・米関係者とその家族が増えることになり、基地全体で 1 万人以上の米軍関係者が岩国市に居住することになります。そのうち基地外居住者は 2 割程度になると予想されており、短期間より恒常的な滞在が予想されています。米軍住宅については、移駐にともなって基地内に 792 戸、愛宕山用地に 262 戸が建設されました。岩国市議会では安心安全対策の一環として、防犯灯・防犯カメラの設置を提言したところ、今年度から防犯灯の電気代の無料化や防犯カメラの設置が決定しました。防犯灯は今後設置されるものについても無料となり、防犯カメラについては地域住民や警察と協議を行いながら設置されることとなります。

私は 1 万人以上の米軍関係者が居住することで、言葉や文化、生活習慣の違いによるトラブルの発生等、市民生活の影響について議会において質問しました。

《1》基地関係者の米国人との交通事故が発生した場合

通常の交通事故と同様に警察に通報することになり、日本人同士と同じような処理がなされます。警察には英会話のできる職員を配置しており、事故処理にあたります。また、米軍関係者ということで、その後の処理に困った場合には、中国四国防衛局の担当部署があるので、そちらへ問い合わせしていただければということでした。

《2》米軍関係者による暴行・傷害事件や窃盗事件が起こった場合

基本的には交通事故と同様に警察に通報することになりますが、日米協定上さまざまなケースが考えられます。

平成28年に広島で発生した米海兵隊員の暴力事件も蹴った敵の処罰が科せられ、米軍でも軍としての処分が科せられたということです。この場合も、中国四国防衛局の担当部署で被害者が訂正な補償が受けられる対応するとのこと。

《3》一般的な生活で生活習慣の違いによるトラブルが発生した場合

岩国市によせられた事例としては、ゴミ出しのルールが守られていない、Yナンバー車の交通マナーが悪い、家の庭でバーベキューをやっているが、騒がしく、煙たい車のエンジンがかけっ放し、犬の鳴き声がうるさい、家の中で流す音楽が大きい等があるようですが、行政がかかわる必要があれば事例に応じて適切に対応するとのこと。

「ゴミ出し」については、英語版の分別ガイドを作成、配布して対応しており「ペットの飼育」については基地内の獣医から基地外でペットを飼育する上での手続き習慣の説明を受けているとのこと。一般生活での「声や音楽の音」の問題は、多くの方は自治会長さんの相談される場合が多いと思われませんが、岩国市の市民協働推進課に相談してくださいとのこと。この課には英語に堪能な職員を配置しており、臨機応変に対応するとのことでした。また、基地内ではセーフティブリーフィングというものを開き、市長が自ら米軍関係者に過去に沖縄や広島で起こった事件について、起こった事件が一般人よりを厳しい見方をされ住民との信頼理解を失墜させることを説明し、防止の訴えを強く隊員に語り掛けているそうです。

その他さまざまなトラブルが予想されますが、岩国市民は今まで同様の基地を抱える他都市に比べ良好な関係を築いていると思われ、これからもお互いの理解を深め良き隣人として生活していく必要があると思います。

